

「既存建築物の非構造部材の耐震診断指針講習」 WEB 講習ご案内

主催：一般財団法人日本建築防災協会

地震時の安全性、機能継続の観点から重要な非構造部材の耐震診断指針を定めました。この指針は、新築の建築物を含む幅広い目的で利用可能な技術情報となっています。

地震時に、多くの建物で、非構造部材の脱落等により大きな被害が発生しています。また、防災拠点建築物等の被災後の機能継続の観点からも、非構造部材の耐震安全性は極めて重要です。

本協会では、「既存建築物の非構造部材の耐震診断指針・同解説」原案作成委員会（委員長：坂本功 東京大学名誉教授）を設置しご検討をいただくとともに、国土技術政策総合研究所及び建築研究所の監修をいただいて「既存建築物の非構造部材の耐震診断指針・同解説」を策定しました。

建築物の所有者・管理者、設計者、施工者及び建築行政・営繕担当者等で本講習を未受講の方々にぜひご受講いただきますようご案内いたします。

本指針の特徴：

- ・構造躯体の耐震性能が確保されている鉄筋コンクリート造、鉄骨造等の建築物の非構造部材のうち、壁、開口部、屋根及び天井に設けられるものを対象としています
- ・目視を中心とした「1次診断法」と、図面情報等を収集して行う「2次診断法」について、調査の方法、各部位別の評価の方法、耐震性の判定方法等を定め、解説を加えています。さらに、本診断指針の適用例、地震被害例などを参考資料として掲載しています。
- ・非構造部材を対象とした耐震診断基準等としては、複数の既往の基準類が存在し活用されていますが、本指針は、広い範囲の建築物及び非構造部材を適用対象とするほか、改修が必要な部材を抽出し具体的な対策につなげることに適したものです。

■本講習は建築士継続能力開発（CPD）制度認定講座4単位（予定）です。

建築士会、JIA、建築設備士関係団体、APEC エンジニア・アーキテクト、建築・設備施工管理 CPD または建築技術教育普及センターのいずれかの CPD 制度に参加されている方は、お申し込みの後、「氏名」・「CPD 番号」を E-mail (fu_ji@kenchiku-bosai.or.jp) でご連絡ください。

1. **受講期間**：令和4年2月1日（火）～令和4年2月28日（月）
受講申込期間：令和4年1月11日（火）～令和4年2月10日（木）

2. プログラム

時間数	講義名・担当講師
30分程度	作成の経緯及び過去の地震被害について 東京大学 名誉教授 坂本 功
95分程度	耐震診断指針 1次診断法・2次診断法について 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授 清家 剛
50分程度	各種の非構造部材の被害と耐震性について 国土交通省国土技術政策総合研究所 住宅研究部 住宅生産研究室長 脇山 善夫
50分程度	適用例について 株式会社 万建築設計事務所 代表取締役所長 梅園 雅一

3. **受講料及びテキスト代** 10,500 円（税込）（受講料：5,000 円、テキスト代：5,500 円）
テキスト：「既存建築物の非構造部材の耐震診断指針・同解説」 2019年3月12日（初版）

4. WEB 講習の受講に必要な環境 （※申込前に必ずご確認ください）

①通信環境： YouTube などの動画を標準画質で快適に視聴できること

②視聴環境

PC 推奨ブラウザ：(Windows) Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Google Chrome
(Mac) Safari、Mozilla Firefox、Google Chrome

※ Internet Explorer は対象外です。

スマートフォン推奨 OS : (iPhone/iPad) iOS 13.0 以降 (Android) Android 8.0 以降
スマートフォン推奨ブラウザ : (iPhone/iPad) Safari (Android) Google Chrome

(参考) 通信環境等の具体的スペック等を確認できる場合は、下記を参考にしてください。

- ・回線速度 下り : 512kbps 以上、上り : 256kbps 以上
- ・CPU : Celeron1GHz 以上、CoreDuo1.66GHz 以上、これらと同等以上の CPU

5. 申込方法および受講までの流れ

「4」の視聴環境の確認を行った上で、本協会ホームページ

(<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/workshop/hikouzou/>) からお申込みください。

① 本講習の選択

講習・検定画面 ⇒ 既存建築物の非構造部材の耐震診断指針講習 ⇒ 個人情報保護規定に同意し、講習を申し込む をクリック。(※過去に ID、パスワードを登録された方は、それでログインすれば②の入力が省略できます。)

② 基本情報の登録

氏名、生年月日等の基本情報を入力してください。

メールアドレスは、「受講申込受付完了のお知らせ」、「決済依頼完了のお知らせ」、「サイトログインのご案内」送付時に利用しますので、受取可能なパソコンのアドレスをご記入ください。

③ テキストの選択

テキスト購入の有無を選択してください。※ご入金確認後、随時ご郵送いたします。

④ 支払い方法の選択

受講料の支払い方法を選択してください。

支払方法は、「コンビニ払い」又は「Pay-easy 払い」になります。※振込手数料は不要です。

⑤ 申込み内容の確認

表示された申込み内容を確認の上、**上記内容で申込み** を押してください。

⑥ 受講料の支払 ⇒ 選択していただいたお支払い方法にて支払い

※1 : インターネットでお申込完了後、「kadmin@kenbokyo.jp」のアドレスより「受講申込受付完了のお知らせ」と「system@p01.mul-pay.com」のアドレスより「決済依頼完了のお知らせ」のメールが届きますので、受付期間内になるべく早くお振込ください。

※2 : 迷惑メール対策等を行っている場合には、※1 と⑦に記載のアドレスからのメール受信が可能な設定に変更してください。

⑦ 受講期間中に講義動画の視聴

ご入金を確認出来た方へ随時、お申し込んだ E-mail アドレスに受講サイトの URL・ログイン ID その他必要事項が記載されたメール (fu_ji@kenchiku-bosai.or.jp より) を送信いたします。受講期間中に講習動画を視聴してください。

※1 : 途中で視聴を停止した場合は、次回アクセス時には、前回停止した箇所からの視聴となります。

※2 : 同じ科目を繰り返し視聴していただくことができます。また、巻き戻しての視聴もできます。

※3 : 受講 (配信) 期間の延長はございませんので、受講 (配信) 期間内での受講をお願いいたします。

ご登録いただいた個人情報は、本講習実施及び本協会に関する情報提供のために使用し、個人情報保護法に基づき、適正に管理いたします。申込受付等の一部の業務を外部に委託する場合がありますが、委託先にも本協会同様、適正に管理いたします。

6. 後援 (予定) : 国土交通省、日本建築行政会議、(一社) 日本建築学会、(公社) 日本建築士会連合会、(一社) 日本建築士事務所協会連合会、(一社) 日本建築構造技術者協会、(一社) 日本建設業連合会、(一社) 全国建設業協会、(公社) ロングライフビル推進協会、既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会、建築物防災推進協議会

講習実施に関するお問合せ先 一般財団法人日本建築防災協会 非構造耐震講習係 (TEL : 03-5512-6451)